

2022年8月18日

トヨタコレクション企画展 (※別紙1) 「うつす展 江戸から未来へ、映す、写す、移す。」

トヨタ産業技術記念館(名古屋市西区則武新町 ※別紙2)では、2022年10月8日(土)より、標記の企画展を開催いたします。日本のモノづくりの源流ともいえる、主に江戸時代中期から明治時代初期の貴重な科学技術所蔵品から、「うつす」に関する資料展示を開催します。

適切な感染症対策を準備して、お待ちしております。

【タイトル】 トヨタコレクション企画展

「うつす展 江戸から未来へ、映す、写す、移す。」

明治の近代以降、わたしたちは何を手放し、何を受け継いできたのでしょうか？幕末・明治の古写真や外国人手記には「未来を考えるきっかけ」が垣間見えます。私たちが未来へ“うつし”たいものを、いま、一緒に見つめ直してみませんか？

【会 期】 10月8日(土)～12月18日(日)

【会 場】 トヨタ産業技術記念館 特別展示室

【開館時間】 9:30～17:00 月曜休館(祝日の場合は翌日)

【入場料金】 館の入場券(常設展)でご覧いただけます。

【特別協力】 エバレット・ブラウン(湿板光画家)、渡辺 京二(日本近代史家)



<関連イベント> 「うつす」全5回(※詳細は別紙3)

日にち	タイトル	講師
10月22日(土)	ワークショップ「作って写そうカメラ箱 ～つくればわかる、うつせばかわる」	イシス編集学校中部支部長 小島伸吾
11月6日(日)	講演会「世界27か国の幸せを 日本にうつす」	「教室から世界一周！」 プロジェクト代表 堂原有美
11月19日(土)	講演会「失われゆく日本」	湿板光画家 エバレット・ブラウン
12月4日(日)	講演会「<熱>モノづくりの魂にみる 機械と人間のこれから」	写真家 平林克己 同志社大学社会学部准教授 勝野宏史
12月18日(日)	講演会「一枚の自分史に見る写真の力」	自分史活用推進協議会副理事長 河出岩夫

〈お問い合わせ〉 広報グループ

TEL. 052-551-6111 FAX 052-551-6199

連絡先 e-mail: info@tcmitt.org

【トヨタコレクションとは】

「トヨタコレクション企画展」は、日本近代化の原動力となった、江戸時代のモノづくり文化を紹介する展示会です。

19 世紀後半の明治維新以降、日本は鎖国を解き、西洋文化を積極的に取り入れ急速に近代化を進めました。当時の技術者は西洋の技術をそのまま導入するのではなく、日本の風土や素材に合わせてオリジナリティあふれるモノづくりの技術に昇華させていきました。

トヨタコレクションは、江戸中期から明治初期の工学、医療、美術・工芸などに関する五百数十点におよぶ科学技術資料で、1999 年にトヨタ自動車が取得し、2005 年より当館にて一般公開しています。精密性や芸術性を備えた日本のモノづくりの神髄に迫るコレクションです。

日本の発展を支えてきた繊維機械と自動車の産業技術の変遷を紹介する常設展とともに、その源流となるトヨタコレクションの企画展を通じて、研究と創造の精神とモノづくりの大切さを感じ取っていただければ幸いです。

【主な展示物】

映

【幻灯機】



【大櫓時計】



写

【初期型スタジオカメラ】



移

【開化皿「長崎港外輪船之図」】

【磁石(方位計)】



【着色古写真】



【トヨタ産業技術記念館のご案内】

トヨタ産業技術記念館は、1994年にトヨタグループ17社の共同事業として、グループ発祥の地である旧豊田紡織株式会社本社工場跡に設立されました。建築史的にも貴重な赤レンガの建物を産業遺産として保存・活用し、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さや素晴らしさを、本物の機械の動態展示と多彩な実演を通じて伝えています。

(1) 所在地： 名古屋市西区則武新町4-1-35

TEL：052-551-6115

FAX：052-551-6199

(2) 開館時間： 9：30～17：00（常設展示場への入場受付は16:30まで）

＊休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）

(3) 入場料： 大人 500円、65歳以上300円、

中・高生 300円、小学生 200円、団体割引あり

(4) ホームページ： <https://www.tcmit.org/>